

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2025年 6月 27日 No. 6

被害者が加害者にされた！JR東日本武蔵小金井駅暴行事件

第2回口頭弁論 報告集会

6月23日



前段では全国 13 箇所、176 名の参加で 1884 枚のビラを配布しこの事件の異常性を社会に訴えました。報告集会には、リモート含めて 164 名が参加しました。

◇長島弁護士

JR東日本は、上司に逆らうことは絶対に悪であることを正面から主張している。このような主張が認められ、受け入れざるを得ないとなれば、今後は上司に首元を押さえつけられても逆らってはいけないということではないでしょうか。私たちは絶対にこのような主張を認めるわけにはいきません！

◇職場からのたたかい

知らない組合員をつくらないたたかいを職場活動の強化を通じて実現させてきた。全員で行動できないかと独自で街頭ビラ配布行動を展開してきた。会議の中で些細なことでも共有するように意識している。

◇Aさんの報告

会社の準備書面を見て驚いた。私が上司の指示に従わない社員、苦情を多くもらう社員となっている。パワハラをされたのは私であって、反省文も会社の指示通りに書かされた。実証実験を通じて覆していく。

被害者が加害者にされる理不尽さを広く社会に 伝え広めるために全組合員で行動していこう！